

2019年度 自己評価書

学校法人藤学園 草加藤幼稚園

1 本年度の重点目標

(教育方針)

「ひとりひとりの 咲くべき花を 咲かせよう
～ うつくしく やさしく しなやかに～」

1. キリスト教精神を基調とし、モンテッソーリ教育法とその精神を尊重し、保護者、児童、教職員がお互いを尊敬しあい、より一層幅広い人間関係を培い、キリスト教に根差した幼児教育の実現に努力します。
2. 本園の教職員は、園児一人ひとりの気持ちや心を大切にするなどの教育方針や質素儉約に努めながらも子供たちへの対応はおおらかに、また、工夫するなどの経営方針をよく理解しており、こうした姿を維持していきたいと考えています。

2 評価方法

評価方法は、目的達成状況などに応じ7段階とする。

- A → 十分達成されている。
- A- → 概ね達成されたが、工夫や改善する必要がある。
- B+ → 若干上回って達成されている。
- B → 達成されている。
- B- → 概ね達成されているが、工夫や改善する必要がある。
- C → 取り組まれているが、成果が十分でない。
- D → 取り組みが不十分である。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	実施状況と改善方策
教育課程・指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 建学の精神であるキリスト教や教育目標・方針について、教職員と定期的な話し合いなどを通じて理解を深めている。 2 幼稚園教育要領を理解し、園児の特性に応じ、又、主体的な活動を尊重するとともに遊びを通して総合的な指導を行うなど、発達状況に即した指導を行っている。 3 年間の行事予定や指導計画などは、教職員と協力し、工夫を凝らし策定している。 	A	<p>建学の精神に基づいた教育目標などについては、教職員同士の話し合いを通し、子どもの成長を実感し、共に喜びあうことができました。</p> <p>園児の教育にあたっては、毎日の祈りや福祉活動(カリタリスジャパン;赤い羽根募金)等に参加することにより平和を願う心が育まれるよう努めています。</p> <p>特に、「モンテッソーリ教育法」に基づき、異年齢混合の縦割りクラスのもと、園児一人ひとりの知的好奇心が自発的に現れる環境に配慮しています。</p> <p>また、教材を活用して自らの活動を自由に個別活動するよう努めており、教員も経験を積み重ねる事によって、その効果を表れてきていると実感する事ができます。</p> <p>今後も教員の資質の向上を図り、更に教育内容の充実のため工夫を重ね取り組んでいきたいと考えています。</p>

保健管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校保健計画を作成し、家庭や保健・医療機関と連携のうえ実施している。 2 日常の健康観察や疾病予防の取組みのほか、健康診断を定期的に行っている。 	A	<p>保護者や医療機関と連絡を取りながら保健計画を作成し、健康診断などを実施しました。</p> <p>園舎内外の環境整備・清掃・整理整頓等が行きとどいている点については、全ての訪問者から驚かれています。</p> <p>尚、風邪やインフルエンザなどの予防のため手洗いやうがいを励行し、大型空気清浄機の設置等、拡散防止に継続的に努めています。</p> <p>今後も保護者や医療機関などと連携し、園児の健康管理と疾病予防対策に配慮していきたいと思います。</p>
安全管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全計画や防災計画を策定し、定期的に避難訓練などを実施し、安全対応能力の向上を図っている。 2 危機管理マニュアルを作成し、教職員が消防機器の安全点検や避難路確保などを行っている。 	A	<p>危機に対する対応については、最優先課題と考えており、万一の事態に備え、定期的な避難訓練のほか教職員による避難路の確保や消火器の点検と配置場所の確認など安全確保に努めています。</p> <p>今後は、事故や事件に巻き込まれないよう、教職員の危機管理に対する意識を一層高め、また、保護者の協力を得ながらその防止に努めていきたいと思います。</p>
特別支援教育	<p>家庭と連携を図るとともに園内支援体制の下、園児ごとの指導計画を作成している。</p>	A+	<p>園児一人ひとりの健康状態などをしっかり把握し、保護者の理解や教職員全員による共通認識のもと指導計画に沿って教育活動を実施しています。</p> <p>これからも保護者や関係者(特別支援サポーター・埼玉県・草加市等から派遣される専門家)と連携し、園児一人ひとりの個性や自立心などを尊重しさらに保護者への子育て相談等、多岐にわたる課題と取り組みながら日々保育にあたっていきたいと思っています。</p>
組織運営	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラス担任や主任を配置するなどし、教職員相互の連携協力の下、園の適正・円滑な運営に努めている。 2 園児等の個人情報の取扱いと管理については、適正に行っており、また、保育に関わる公文書についても適切に管理している。 3 教職員の勤務時間やサービスなどについては、就業規則の定めに沿って適正に対処している。 	A	<p>園の教育方針のもと、教職員が話し合いや相談などを重ね、共通認識を持つとともにコミュニケーションを十分図り保育することが大切と考えています。</p> <p>また、保護者などの理解と協力を得て、円滑な運営に努めています。</p> <p>個人情報の取扱いは細心の注意を払い、また、就業規則に関する法令等の遵守については、定期的な話し合いなどを通じ適切な取扱いに努めており、これからもそのように対応していきたいと考えています。</p>

<p>研修 (資質向上の取組)</p>	<p>園内外における研修については、教職員が積極的に参加し、能力・資質の向上に努められるよう環境を整えている。</p>	<p>A</p>	<p>教師一人ひとりが謙虚さを失うことなくモンテッソーリ教育の精神をもとに、あくまでも「助け手・援助者」に徹することが大切であると考えています。2019年度の埼玉県東南地区私幼教主催の研究集会に向けての準備の必要性から、これからも夏季休暇や週末等に開催される研修会への参加促進の他、自己研鑽がはかられるよう環境作りに努めると共に研修内容の共有に努めて行きたいと考えています。</p>
<p>教育目標・学校評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育目標を設定するとともに、全教職員による自己評価を実施し、次年度の教育活動の参考としている。 2 園に対する保護者からの意見・要望については、適時実施し、可能なものから順次取り入れるなどしている。 	<p>A</p>	<p>全教職員による自己評価については、毎年年度末を日途に実施し、学園のホームページで公表しています。</p> <p>また、自己評価の結果を確実に次の年の保育活動に生かすことが大切であると考えており、日々の活動に工夫を重ねしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>これからも保護者との信頼関係を大切にするとともに、意見やニーズにしっかりと応え、充実した保育と円滑な運営に努めたいと考えています。</p>
<p>情報提供</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 園児等の個人情報については、適切、かつ慎重に取り扱っている。 2 園だよりやホームページ、更には保護者との懇談などの機会を活用し、教育活動などの情報提供に努めている。 	<p>A</p>	<p>個人情報については、大切なことと考えており、誤った取扱いがないよう慎重に、また、十分配慮し厳格な対応をしています。</p> <p>園児の活動状況や行事の内容をプリントでお知らせするように努めています。HPのリニューアル等により、その内容の充実に更に努めたいと考えています。</p>
<p>保護者・地域住民との連携</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 PTAとの懇談やクラスごとの交流などを通じ、保護者と連携を図り、園の適正な運営に努めている。 2 地域の文化や伝統に触れる機会を大切にしている。 	<p>B</p>	<p>園における幼児一人ひとりの様子が保護者に伝わるよう、保護者の必要に応じて懇談、意見聴取に努めています。</p> <p>また、運動会や降誕祭などの行事についても保護者の理解を頂きながら「こどもが中心」の姿勢を崩さずに和やかな雰囲気の中での参加を呼び掛けるなどしています。</p> <p>これからも園外による地域とのふれあいを大切にしていきたいと考えています。</p>
<p>子育て支援</p>	<p>園児の心身の健康と発達の状況などについて、保護者と共通理解を得るように努めるとともに家庭や専門機関と連携を図り適切な指導を図っている。</p> <p>また、保護者の子育てへの不安、育児のニーズを理解しようと努めている。</p>	<p>A</p>	<p>園児一人ひとりの個性と自立心を大切に、保護者と連携を図り、また、教育専門機関などとも情報交換しながら保育の充実に努めたいと思ひます。</p> <p>また、子育てに対する不安や質問に応えられるよう専門機関の指導(現在既に複数の発達支援サポーター研修修了者がいます)等を受けて保護者に情報提供したいと考えています。</p>

預かり保育	保護者の実情やニーズに応じ、家庭と連携を図りながら実施している。	A	保護者一人ひとりの実情やニーズに適切に対応することが大切であり、預かる子供の健康状態などを把握しながら良く話し合うとともに連携を図り、また、必要な情報を共有していきたいと考えています
教育環境整備	園児にとって安全でふさわしい施設・設備を整えるよう環境の整備に努力している。 また、主体的な活動を促すとともに季節や周囲の自然などを生かした環境に配慮している。	A	園児にとって何よりも安全な教育環境となるよう園庭管理、遊具の配置や点検などに努めています。 また、社会見学、自然観察（獨協大学准教授による指導）、お煎餅焼き体験（地場産業）交通安全指導、運動会、七夕祭り、お芋掘り、オカリナ演奏会、音楽会、降誕祭、お別れ遠足（東京カイト）、卒園ミサ、ひな祭り、卒園式典など本園の教育理念や季節及び本園が置かれている地理的・社会的状況などの即した行事を盛り込んで教育活動を実施しています。 今後ともこれらに十分配慮した取組みを持続したいと考えています。

4 総合評価

達成状況	計画に対する評価と課題に対する今後の改善方針など
A	<p>本園における教職員全員が、本園の教育方針のポイント ～一人一人をかけがえのない人格として尊重する～ 姿勢に徹し、（親子への）発達支援教育への取り組みや、地域の高等教育機関である獨協大学の協力による自然・環境教育等、教育内容の広がりや充実と際立った一年間であったと言えます。</p> <p>今後は、教職員の意識や意欲を持続させマンネリ化しないよう、また、更に一層の資質の向上を図るため、様々な機会を利用して自己研鑽が図られるよう、その環境作りに努めていきたいと考えています。更に、コロナの対策や対応を他の諸機関とも連携しながら迅速に行っていきたいと考えております。</p>